

どんな江田島市になってほしいですか？

議員がインタビュー



市民の声

議会広報特別委員が幅広い年代の市民の方から
将来の江田島市についてインタビューを行っています。

子育てしやすい 江田島市に

私は2人の子どもを持つ母親です。地域の絆を大切に、三高地区が元気になるように「響輝」という太鼓演奏の活動をしています。

これから子どもたちの進学を考えると、成長することのうれしさを感じるとともに不安を感じます。広島市内に通う場合、帰りの時間にちょうどいい時間があるのかな、1時間に1便あればいいな、もう少し市からの補助があればいいなと心配になります。江田島市に住みながら子どもも親も不安を感じることもなく通勤通学できる環境をつくり、子育て世代に優しい取り組みを期待しています。



川崎 美絵 さん
(沖美町三吉)

企業誘致に 積極的なまち

過去の議会だより、市民の声のインタビューを見させていただきました。中でも意見として多かったのが、若い人たちが住むことのできるまちのようでした。私も同じように感じており、そのためには働くところが必要と考えます。

江田島市も企業誘致に取り組んでいることは知っていますが、さらに進めるためには、思い切って市の遊休地を無償提供するなど、さまざまな企業が江田島でチャレンジしたいと思えるような積極的な施策を望んでいます。



藤井 晴人 さん
(江田島町中央)

車がなくても暮らせる 江田島市へ

私は、将来免許証を返納した後も、日常の生活が不安なくできるように、江田島市の支援を活用して安心して老後を楽しみたいと思いました。

現在の江田島市は、人口も減少し高齢化も進んでいます。さまざまな取り組みをさせていただいていると思いますが、高齢者の方が孤立することなく、外へ出掛けて行くきっかけをつくってほしいと思っています。

いずれ誰もが通る道だと思います。だからこそ今、車がなくても暮らせる江田島市へと変わっていくべきです。



原 明子 さん
(大柿町飛渡瀬)

子どもたちに光を

日本は諸外国に比べ、子ども関連の予算が半分と言われています。

子育てや生活の負担が大きくお金を使えない子育て層に向けて支援すると経済が回り始め、地域が活性化します。すると税収が増え、財源ができ、まちが発展していく。予算は議会において、過半数以上の議員の可決でできるそうなので、明るい未来創りに期待を感じています。

子どもを応援しないまちに未来はない。こども家庭庁発足を機に後手にならず、先をゆく江田島を期待しています。



吉井 貴子 さん
ブレندان・エドワーズ さん
(大柿町深江)

「ふるさと」は遠きに ありて思ふもの？

40年間、転勤で全国異動し帰省後5年の私は、故郷は近くに居てこそと実感します。

市外に住民票があっても、実家や畑や墓などで故郷に縁がある方がたくさんおられます。お帰りの際、用事だけでなく、ぜひさまざまな地域行事に参加し、島を盛り上げていただきたいのです。観光の方含め滞在人口を増やすことが活気ある未来にきっと繋がります。

そして、今や島の玄関は早瀬大橋。島にお越しの方全てをウェルカムできる玄関の施設にエールを送ります！



山田 耕二 さん
(能美町高田)

老後も暮らせる 島づくりしてほしい

京都の大学に通っていましたが、海の無い環境で自然口スになり、島へUターンしました。老後も自然に囲まれた島で暮らしたいと考えているので、美しい自然に囲まれ、ほどほどに便利であってほしいと願っています。

そのために、私自身も20代のうちに、同世代の人たちが島に集まるイベントを企画したいと考えています。交流を通じて、私の好きな江田島の良さを広めたいです。



川井 美優 さん
(江田島町秋月)